

佐賀市の特徴や誇れるもの

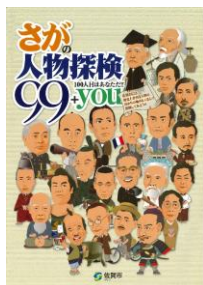
○筑紫山系の山林・清流、佐賀平野のクリーク・田園風景、宝の海「有明海」など、素晴らしい自然に恵まれています。
○古代肥前の国の行政府跡「肥前国庁」、長崎街道、佐賀城本丸歴史館、昇降式可動鉄橋「筑後川昇開橋」などの価値ある文化・歴史遺産があります。
○観光面においては、バルーン大会、佐賀城下ひなまつり、大隈記念館、温泉、スキー場、また沿岸部における干潟の個性的な動植物など、多様な魅力を備えるまちです。
○平成27年5月には「東よか干潟」がラムサール条約湿地に登録され、平成27年7月には「三重津海軍所跡」が「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。

郷土学習資料

『さかの人物探検99+you 100人目はあなただ!!』

佐賀市教育委員会では、平成28年9月に新しい郷土学習資料を佐賀市立小中学校に配布しました。この本には、佐賀の領主・藩主、政治・外交、産業・技術、医学・薬学、教育・福祉、学者、芸術・芸能、スポーツの8つの分野で活躍した人物99人を取り上げ、その功績やエピソードを紹介しています。

小学校4年生以上の児童生徒が総合的な学習の時間や社会科の時間を中心に、この資料を使って先人の偉業や生き方について学び、ふるさとに誇りと愛着をもつ心情を育みます。



郷土学習資料



岡田三郎助の紹介



中川副小学校のクイズ大会

教育委員会所在地：佐賀市大財三丁目11番21号

連絡先：0952-40-7356

学校数：小学校 35校、中学校 18校

芙蓉校（小学部）の取組

芙蓉校では、小学部3年生の『蘊真』（総合的な学習の時間）で蓮池町の行事や祭りについて調べ学習を行います。



蓮池町は、旧蓮池藩の城下町として栄え、獅子舞で有名な「祇園祭」、国の重要無形民俗文化財指定の「かせどり」、「天賜園」という庭園で行われる観月会などの行事があります。



行事や祭りについて地域の方にお話を聞いたり郷土料理を作ったり、実際に参加したりして、郷土を誇りに思う心を育てています。

佐賀市立小中一貫校富士校の取組

～ミヤマアカネ生息地の環境保全活動～

絶滅が危惧されているトンボ「ミヤマアカネ」の産卵地を守るため、小学部5年生と中学部2年生32名が、佐賀市環境政策課の指導のもと、富士町内を流れる嘉瀬川の河川敷で、水面が見えるようにツルヨシを伐採し、産卵できる環境をつくりました。

第1回目の作業後（9月）は、早速、産卵行動が確認でき、参加者全員が喜びの声をあげました。

第2回目の作業（10月）では、新たな産卵地確保のため、下流域まで伐採の範囲を広め、ツルヨシの伐採や搬出を小中学生が互いに助け合いながら、流れ作業で行い、予定より早く終わることができました。

県内でミヤマアカネが確実に観察できる場所は激減し、ツルヨシの伐採作業を行った富士町内の嘉瀬川河川敷は残り少ない貴重な生息地となっています。今後も継続して郷土富士町の自然を自分たちの手で守りたいとの思いを強くもつことができました。



北川副町の特徴や誇れるもの

南佐賀から諸富町まで続く旧国鉄佐賀線跡の「徐福サイクルロード」には、桜が植えられており、春の満開シーズンの『桜のトンネル』は、実に見事です。

校区各種団体の活動も活発な地域で、特に、「ふれあい冬まつり(ほんげんぎょう)」、「ふれあい夏まつり」は、盛大に開催し、住民の交流の場となっています。

具体的な取組・活動例①

北川副ふれあい冬祭り



北川副校区には、「ふれあい夏まつり」「ふれあい冬まつり」の二つの大きな祭りがあります。その中でも40年前に北川副小の小学生が立ち上げた「ふれあい冬まつり」は、地域の人によって受け継がれてきました。早朝に暗闇の中に燃え上がる炎は感動します。

その冬祭りに子ども達は、積極的に参加したり、運営を手伝ったりしています。事前にラジオ・テレビPR出演、机・椅子運び・ゴミ箱設置・かっぱ酒器作り、当日は受付を担当し、まなざしカード配布・点検などを行っています。また、子どもみこしや、吹奏楽の演奏などをして祭りを盛り上げています。

北川副小学校の取組

具体的な取組・活動例②

秋のふるさと学習



6年生は、毎年秋に、市の「ふるさと学習支援事業」を利用して、社会科の学習として佐野常民記念館、三重津海軍所跡、佐賀神社、歴史民族館、大隈記念館、佐賀城本丸歴史館などをグループごとにフィールドワークで回っています。

日本の近代化に先駆的な役割を果たしてきた七賢人の業績や近代化遺産について見学やフィールドワークを通して学び、文化財の素晴らしさを再発見・再認識させ、文化財に対する理解を深めさせたり、故郷、佐賀に対しての愛着と理解を深め、誇りを持たせたりする取組となっています。

久保田町の特徴や誇れるもの

- 佐賀市西部にある。H19年に佐賀市合併。
- 美しい自然に恵まれている。のびやかな田園風景の中に歴史が息づく町。
- 東に嘉瀬川、西に福所江川が流れ、毎年バルーンの時期には、学校のすぐ近くまでバルーンが飛んでくる。
- 南部は干拓地で、有明海に面している。
- 「思斉館」としての歴史は長く、200年以上の歴史がある。

具体的な取組・活動例① 「思斉学」

- 小中一貫校として、共通の郷土学習ハンドブック「思斉学スタートブック」を作成しています。これを基に、生活科や総合的な学習の時間「思斉学」の9年間のカリキュラムに準じて郷土学習を積み重ねます。ふるさと久保田を誇りに思う児童生徒が育っています。
- 今年度は、年5回の土曜授業を活用し、小中共通で土曜の朝の時間を「思斉について学ぼうタイム」と設定し、体験学習や地域の人との交流を行いました。

具体的な取組・活動例② 「久保田の町をさるこう会」

- ・期日 平成28年12月15日(木)
- ・ねらい 児童が久保田町の歴史・伝統文化・産業・自然を学び郷土理解を深めることにより郷土に対する誇りと愛着心を育む。
- ・内容 公民館と学校との共催事業(町の「ふるさと創生基金事業」)。町内の自然や産業について、見学や体験学習を行う。
- ・対象 3年生、5年生
- ・交通手段 中型バス3台(3年生と5年生で乗り換えて使用)
- ・経費 129,600円(町が全額負担)

【3年生】

- ・行き先 旧堤防跡見学→有明海堤防見学→海苔漁協化施設見学

・児童の感想

「堤防は人の力で作ったと分かりました。有明海ではのりをとる船が見えました。ふだん行けないのでよかったです。」

・教師の感想

「今回の見学時は満潮時で海水が堤防までせまっており、児童はテレビなどで見る潟との姿の違いに驚いていました。子どもたちが、久保田町のことをもっと知り、郷土を誇りに思う心がより強くなったと思います。」

【5年生】

- ・行き先 王子製紙マテリア佐賀工場見学(工場の方より概要説明、DVD視聴、工場内見学、工場全体をバス車中から見学)

・児童の感想

「佐賀のぼくたちの町にこんな大きな工場があると知らなかったです。エコを大事にされていて、久保田の自慢の工場です。」



久保泉町の特徴や誇れるもの

■国指定天然記念物「えひめあやめ」の存在

■えひめあやめ自生環境保全会の積極的な活動

具体的な取組・活動について

■えひめあやめの苗植え活動

■えひめあやめ自生地・育成地の整備

■えひめあやめについての学習

■えひめあやめ祭りへのボランティア参加

※上記は、全てえひめあやめ自制環境保全会と連携しながらの活動である。

■歌「えひめあやめ」の合唱の練習

・合唱の披露の機会として

①児童集会「いずみまつり」

②佐賀市連合音楽会

③久保泉町文化祭

④久保泉町老人会会食会

久保泉小学校の取組



※写真について
上 えひめあやめの花
中 自生地・育成地見学の様子
下 苗植えの様子



東与賀町の特徴や誇れるものは、何と言っても「東よか干潟」です。絶滅危惧種クロツラヘラサギなど数多くの種類の渡り鳥の飛来地でもあり、水鳥が一斉に飛び立つ光景は圧巻です。また、塩性植物のシチメンソウが真っ赤に色づく晩秋は有明海の自然の雄大さ、美しさをいっそう感じることができます。是非一度、「東よか干潟」へお越し下さい。堤防から無料の双眼鏡を使って鳥やむつごろうなどの生物も観察できます。

具体的な取組・活動例①

東与賀中学校では、道徳の授業で、自然保護の大切さやボランティア活動の大切さなどを学んでいます。そして、11月に行われるシチメンソウまつりの運営ボランティアとしてまつりに参加します。駐車場係やアンケート係、案内係などいろいろな係を中学生が手分けして手伝っています。県内外の観光客や小さな子供から感謝の言葉や労いの言葉をかけて貰うことで、道徳の時間で学習した道徳的な価値を実感する生徒が増えてきました。



東与賀中学校の取組

具体的な取組・活動例②

シチメンソウまつりの期間中、小中学生による「観光ジュニアガイド」も活躍します。今年は13名の中学生が2ヶ月間事前研修を受け、ガイド活動に取り組みました。ジュニアガイドを希望した生徒は皆、「東与賀の良さを発信したい」「有明海の素晴らしさを伝えたい」という気持ちで研修を受けます。有明海の生物のこと、干潟の歴史、飛来する水鳥の種類や数のことなど学びました。昨年5月に「東よか干潟」がラムサール条約湿地に登録され、多くの観光客が東与賀を訪れてくれました。観光客などからいろいろな質問が出されますが、生徒達は笑顔で対応し、好評を博しています。



また、2年生では総合的な学習の時間を使って野鳥観察や干潟の生物調査にも取り組んでいます。



赤松小学校の取組



赤松小学校では、4年生が総合的な学習の時間に佐賀城周辺の公園やお堀を守る活動について学習している。

その中で、地元の自治会や学校コミュニティの方々の協力を得て、「どんこ舟体験」を行った。舟を漕ぐ体験をしながら、お堀に生息する生き物やオニビシなどの植物の観察を行った。

開成小学校の取組

「開成文化祭」～笑顔咲け 開成文化祭～

11月13日(日) 開成小学校で開催された「開成文化祭」は、本校児童、公民館各種サークル発表や体験コーナー、保育園や中学校吹奏楽部の発表など盛りだくさんの内容で実施されました。



サークルと児童のコラボダンス



地域の方とおもち作り

西与賀小学校の取組

西与賀小学校の取組

「ちょこっと・ボランティア

「独り暮らしのお年寄りにしめ縄をおくろう」

西与賀小学校では、5,6年生が総合的な学習の時間に「地域に貢献しよう」をテーマにしめ縄作りに取り組みました。西与賀校区社会福祉協議会をはじめたくさんの方と一緒しよに、12月2日にしめ縄を作りました。

12月7日には作ったしめ縄を6年生が民生委員さんと一緒に独り暮らしのお年寄りの家を一軒ずつまわって配布しました。

しめ縄を受け取って喜ばれるお年寄りを見て、6年生は「思っていた以上に喜んでもらってうれしかった。」

「作ってよかった。」と自分たちらしい地域貢献ができたことに達成感を感じていました。



北山小・北山中の取組

学校・育友会・自治会・JA他諸団体が協力して学校・地域の活性化を図るため、ふれあい推進協議会を組織し、8月に「ふれあいサマーキャンプ」、12月に「ふれあい冬の北山まつり」を行っています。

ふれあいサマーキャンプ

佐賀市内の他校の小学生にも参加を募り、自然豊かな神水川での川遊びやカヌー体験等、郷土北山の誇れる環境を活かした自然体験活動を行っています。



ふれあい冬の北山まつり

体験学習で採れた米やいも、持ち寄った地元の食材を使って、もちつき、豚汁・かりんとう・饅頭作りなどを、保護者や地域の方とともに体験します。また、各地区へ出向き、もぐらうちをして、地域の方とともにふるさと北山を愛する心を育てています。



「中川副小学校ふるさと交流ボランティア」10月



全校の子ども達が、まちづくり協議会、老人会、幼稚園、PTAなど地域の方と一緒に中川副をきれいにしました。

3年生は幼稚園児と一緒に公民館に花を植えました。6年生は、老人会の方と一緒に佐野常民先生の生誕記念碑を心をこめて磨き上げました。子どもたちは、佐野先生のボランティアの心を引き継いで、心も磨かれ地域の一員としての自覚をもつことができました。

東与賀小学校の取組

大活躍 5年生「シチメンソウまつり 盛り上げ隊」

～地域行事への参加で、東与賀のよさを再認識～

10/29(土)、5年生の子どもたちは、地元の「シチメンソウまつり」を盛り上げるために、まつりに参加しました。町づくり協議会やJA青年部など、地域の方々の協力のもと、もち米を育て、収穫。当日は、もち米販売、東与賀町PR、東与賀ソーラン踊りで盛り上げました。

夜にはシチメンソウライトアップで東与賀小全校児童が作成した灯籠が披露しました。いきいきした子どもたちの目には、先人の思いに気付くことができました。励ましの声をかけていただいた地域・保護者の皆様、ありがとうございました。



嘉瀬小学校の取組



バルーンフェスタの時期に嘉瀬町では、「嘉瀬かかしまつり」が開かれます。4年生は総合的な学習に、「かかしまつり」に取り組んでいます。かかしまつりを盛り上げようと、地域の方と共にかかしを制作したり、会場でステージ発表や清掃ボランティアをしたりして、地域の方と共に嘉瀬町のよさを発信しています。

この学習を通してふるさと嘉瀬を愛する心を高めています。